

平成23年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第 3 部

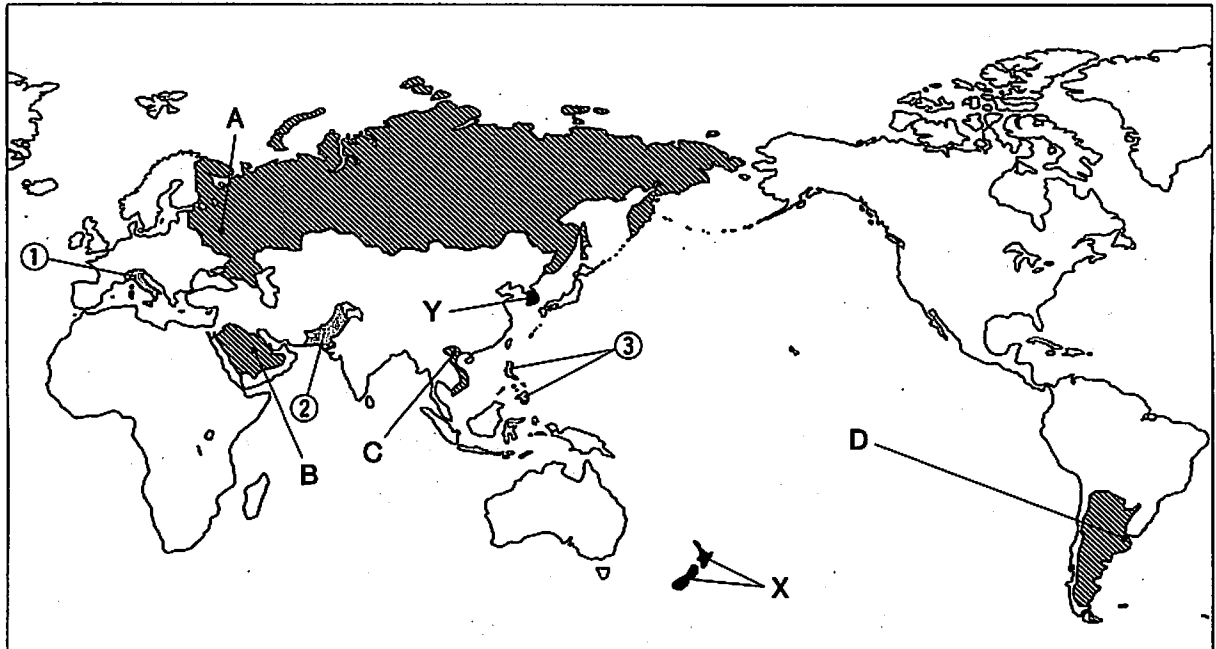
社 会

注 意

- 1 問題は、 から まであり、11ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、ア、イ、ウ、……、A、B、C、……、a、b、c、……、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、……の記号で答えなさい。

- 1 次の略地図を見て、問いに答えなさい。

略地図

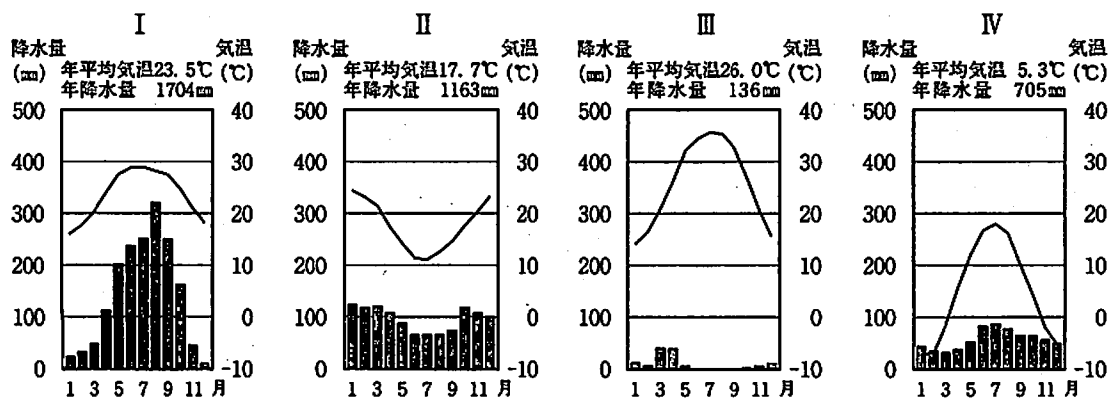


問1 略地図のA～Dは、いずれもそれぞれの国の首都を示しています。A～Dから一つ選び、次の(1), (2)に答えなさい。

- (1) あなたが選んだ首都を、A～Dの記号で書きなさい。また、その首都の名を、ア～カから選びなさい。

ア モスクワ イ ハノイ ウ ブエノスアイレス エ キャンベラ
オ ベルリン カ リヤド

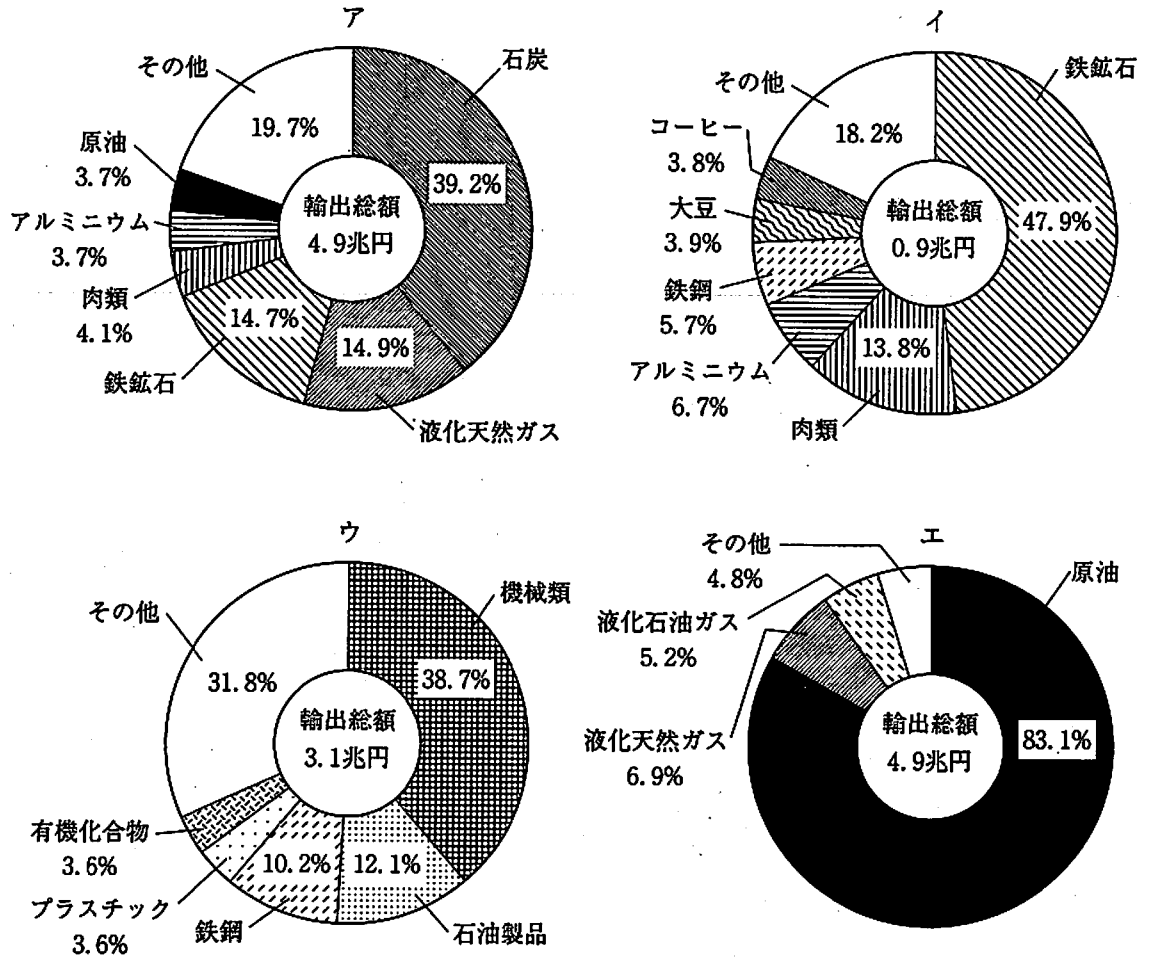
- (2) 次のI～IVのグラフは、A～Dのいずれかの首都の気温と降水量をそれぞれ示しています。あなたが(1)で選んだ首都の気温と降水量を示すグラフを、I～IVから選びなさい。



問2 略地図のXの国の位置について述べた次の文の { } (1)～(3)のそれぞれに当てはまることばを、ア、イから選びなさい。

Xの国は、赤道の(1) {ア 北側 イ 南側} に位置し、オーストラリア大陸と
(2) {ア 南アメリカ大陸 イ アフリカ大陸} との間にあり、四方を
(3) {ア 太平洋 イ 大西洋} に囲まれている。

問3 略地図のYの国の、2008年における日本への輸出総額と輸出総額のうち内訳を示したグラフを、ア～エから選びなさい。



(日本国勢図会2009/10年版より作成)

問4 次の表のア～エには、日本および略地図の①～③の国のいずれかが当てはまります。日本が当てはまるものを、ア～エから選びなさい。また、表から読みとれる日本の産業別就業人口の割合の特徴を、簡単に書きなさい。

表

国	項目 人口 (億人)	産業別就業人口の割合 (%)			穀物自給率 (%)
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	
ア	0.6	4.0	30.2	65.8	82.8
イ	0.9	36.1	15.1	48.8	80.1
ウ	1.3	4.2	27.9	67.9	25.2
エ	1.7	43.6	21.0	35.4	123.5

(人口と産業別就業人口の割合のデータは2007年、穀物自給率のデータは2005年。世界国勢図会2009/10年版、総務省統計局「世界の統計2010年版」より作成)

- 2 次のA～Eのカードは、みき子さんが、わが国と外国とのかかわりについてまとめたものです。これらのカードを見て、問いに答えなさい。

カードA

写真	この写真は、武士として初めて政治の実権をにぎり太政大臣となった a がうやまつた厳島神社を写したものです。 a は、瀬戸内海の航路や現在の神戸市にあった港を整備し、〔ア 唐 イ 宋 ウ 清〕と貿易を行いました。
----	--

カードB

絵	この絵は、琉球王国から江戸に派遣された琉球使節の行列の様子をえがいたものです。幕府は、鎖国政策によって、外国との貿易や交流を制限していましたが、琉球王国とは①<u>薩摩藩</u>を通じてかかわりをもっていました。
---	---

カードC

写真	この写真は、現存する世界最古の木造建築であり、世界遺産に登録されている b を写したものです。わが国では、聖徳太子が b を建てたところに、中国や西アジアなどの文化の影響を受けた飛鳥文化が栄えました。
----	---

カードD

絵	この絵は、わが国の武士と元軍が戦う様子をえがいたものです。幕府の執権は、元の皇帝からの服属の要求を拒否したため、わが国は②<u>二度にわたり元軍の襲来を受けましたが</u>、いずれのときも元軍は引きあげていきました。
---	---

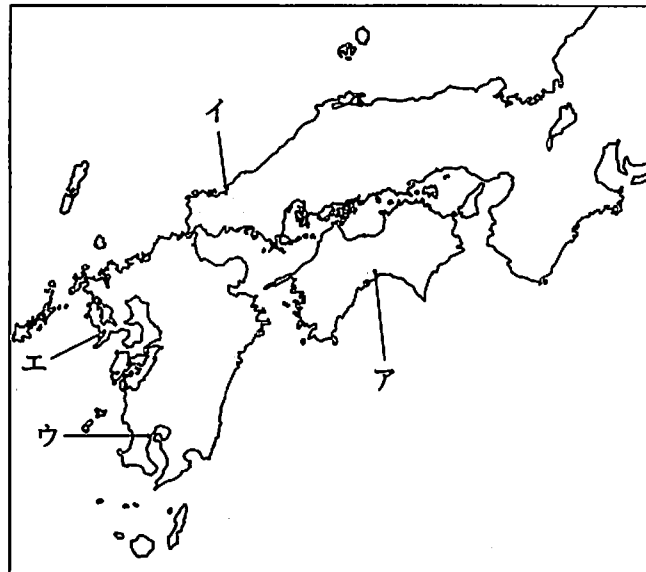
カードE

写真	この写真は、わが国の正式な貿易船に、明からあたえられた c という合い札を写したものです。この合い札を用いた c 貿易で明から大量にもたらされた銅銭は、国内での取り引きに使用されるようになりました。
----	--

問1 カードAの a に共通して当てはまる人の名を書きなさい。また、() に当てはまることばを、ア～ウから選びなさい。

問2 カードBの下線部①のおおよその位置を、次の略地図のア～エから選びなさい。

略地図



問3 カードCの b に共通して当てはまる寺院の名を書きなさい。

問4 カードDの下線部②のころの、13世紀後半に幕府が行ったことについて述べた文として正しいものを、ア～エから選びなさい。

ア 年貢を確保するため、農民が田畑を売買することを禁止した。

イ 検地を実施し、田畑の面積や生産高を調べ、耕地ごとに農民を登録した。

ウ 6年ごとに戸籍を作成し、6歳以上の人々に口分田をあたえた。

エ 生活が苦しくなった御家人を救うため、徳政令を出した。

問5 カードEの c に共通して当てはまることばを書きなさい。

問6 次の表のように、A～Eのカードを年代の古い順に並べるとき、表の①, ②, ④に当てはまるカードの組み合わせとして正しいものを、ア～エから選びなさい。

表

	古い —————> 新しい				
	①	②	③	④	⑤
カード			D		B

ア ①-C, ②-E, ④-A

イ ①-C, ②-A, ④-E

ウ ①-A, ②-C, ④-E

エ ①-A, ②-E, ④-C

- 3 次の図は、春美さんが社会科の授業で、家計、企業、政府の経済活動について発表するためにまとめたものの一部です。これを見て、問いに答えなさい。

図

No.
◆家計、企業、政府の経済活動について◆ 【発表の内容】 ○ 家計と①<u>企業</u>の経済活動について ・家計の収入には賃金などがあり、その収入から②<u>商品の購入</u>などに支出します。 ・企業の多くを占める私企業は、商品の生産や流通により、利潤を得ています。 ○ 政府の経済活動について ・政府が③<u>税金</u>などで収入を得て、④<u>社会保障</u>などのさまざまな用途に支出する活動を⑤<u>財政</u>といいます。 ・財政には、景気を調整して経済を安定させる役割があります。

- 問1 下線部①に関して述べた次の文の に当てはまる法律を何といいますか、書きなさい。

消費者が製品の欠陥によって被害を受けた場合、消費者が企業の過失を証明しなくても、企業に消費者の被害を救済することを義務づけた が、1995年に施行された。

- 問2 下線部②に関して、わが国で、1950年代後半から20年ほど続いた高度経済成長の時期に、家庭に普及したものの組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 電気そうじ機、パソコン、電気洗濯機
- イ 電気そうじ機、白黒テレビ、CDプレーヤー
- ウ 電気冷蔵庫、白黒テレビ、電気洗濯機
- エ 電気冷蔵庫、パソコン、CDプレーヤー

- 問3 下線部③について述べた次の文を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

税金は、直接税と間接税に分けられる。直接税には(a) {ア 法人税 イ 揮発油税} などがあり、間接税には(b) {ア 固定資産税 イ 消費税} などがある。

- (1) { } (a)、(b)のそれぞれに当てはまることばを、ア、イから選びなさい。
- (2) 下線部 とはどのような税ですか。「納める人」と「負担する人」という二つのことばを使い、簡単に書きなさい。

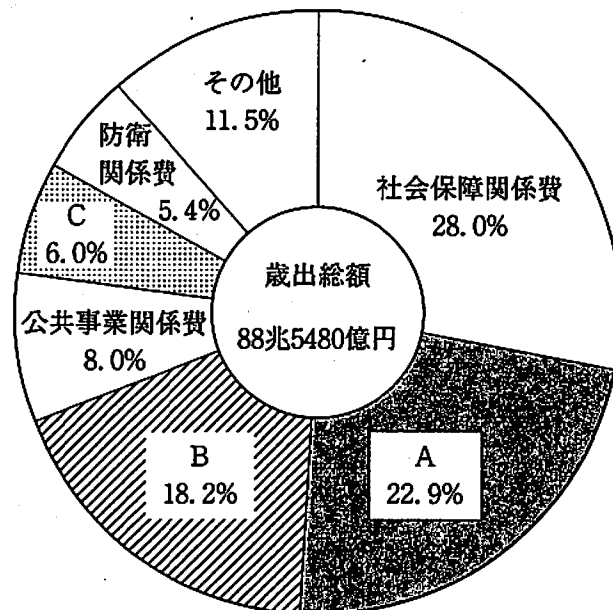
問4 下線部④について、わが国の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の四つの柱からなっています。わが国の社会保障制度の中で、次のⅠ、Ⅱの文で示したことがらが共通してかわるものを、ア～エから選びなさい。

- Ⅰ 春美さんは、歯の治療にかかった費用の一部だけを負担した。
Ⅱ 春美さんの祖父は、公的年金である国民年金を受給している。

ア 社会保険 イ 公的扶助 ウ 社会福祉 エ 公衆衛生

問5 下線部⑤について、次のグラフは、わが国の歳出の内訳を示したものです。グラフのA～Cに当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、ア～エから選びなさい。

グラフ わが国の歳出の内訳 (2009年度予算)



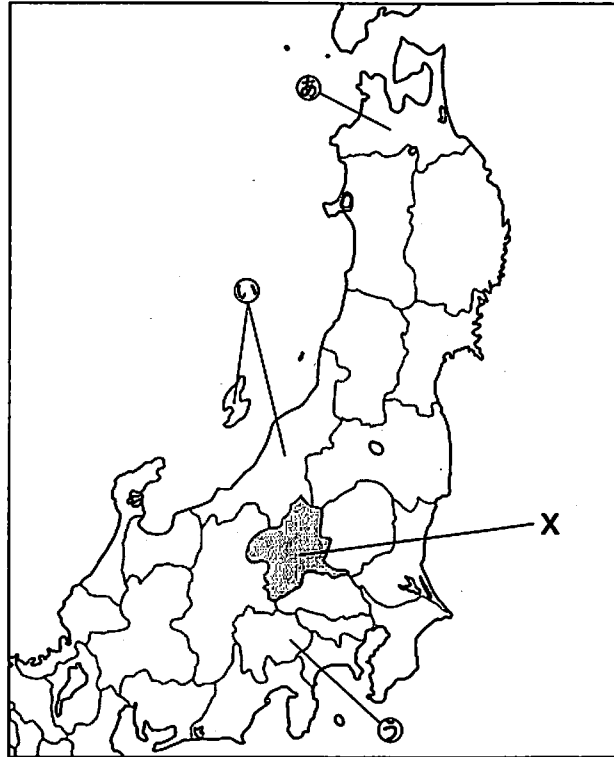
(日本国勢図会2009/10年版より作成)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ア A－国債費 | B－文教及び科学振興費 | C－地方交付税交付金 |
| イ A－地方交付税交付金 | B－文教及び科学振興費 | C－国債費 |
| ウ A－国債費 | B－地方交付税交付金 | C－文教及び科学振興費 |
| エ A－地方交付税交付金 | B－国債費 | C－文教及び科学振興費 |

4

次の略地図を見て、問いに答えなさい。

略地図



問1 略地図のXの県について述べた次の文の { } (1), (2)のそれぞれに当てはまることばを, ア, イから選びなさい。

関東地方の北西部に位置するXの県は, 東北地方にある(1) {ア 山形県
イ 福島県} や, 中部地方にある(2) {ア 長野県 イ 富山県} と接している。

問2 次の地形図は, 略地図のXの県にある都市の一部を示しています。次の(1), (2)に答えなさい。

地形図

(国土地理院2万5千分の1地形図<平成15年>による。ただし, 多色刷りのものを一色で表した。)

- (1) 地形図上のAとBは、「じょうしゅうとみおか駅」と「ひがしとみおか駅」を、それぞれ示しています。AとBを直線で結び、ものさしで測ったところ3.4cmでした。この結果から求められる、AとBの間の実際の直線距離として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 340m イ 850m ウ 1700m エ 7400m

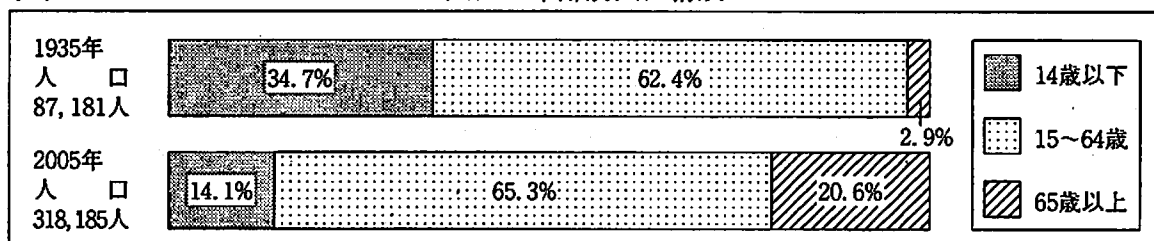
- (2) 次の文の { } (a), (b)のそれぞれに当てはまるものを、ア、イから選びなさい。

地形図上のCの地点には、1872(明治5)年に操業を開始した官営の工場があった。当時、この工場では、蚕かいこがつくるまゆを原料に、重要な輸出品であった(a) {ア 綿糸
イ 生糸} が生産されており、この地域では、蚕のえさとなる桑くわが栽培されていた。地形図には、桑畑を示す地図記号である(b) {ア Y イ II} が見られ、現在でも桑が栽培されていることがわかる。

- 問3 次のグラフは、Xの県の県庁が置かれている都市の、1935年と2005年の人口と年齢別人口構成をそれぞれ示したものです。グラフから読みとったことがらを述べた次の文の { } (1), (2)のそれぞれに当てはまることばを、ア～ウから選びなさい。

グラフ

人口と年齢別人口構成



(内閣統計局「昭和10年国勢調査報告」、総務省統計局「平成17年国勢調査報告」より作成)

- 1935年と2005年の年齢別人口構成を比較すると、1935年から2005年で、(1) {ア 14歳以下
イ 15～64歳 ウ 65歳以上} の人口の割合が最も増加した。
また、1935年と2005年の14歳以下の人口を比較すると、2005年は、1935年のおおよそ
(2) {ア 1.5倍 イ 2.4倍 ウ 3.6倍} となっている。

- 問4 次の表のa～dには、略地図のXおよび㊸～㊼の県のいずれかが当てはまります。Xの県が当てはまるものを、a～dから選びなさい。また、表の に当てはまる作物を、ア～エから選びなさい。

表

項目 県	耕地面積 (ha)			作物の収穫量 (t)		
	田	普通畑	樹園地	米	キャベツ	
a	28,700	42,400	3,990	91,800	220,300	1,140
b	84,000	34,100	24,100	300,600	19,200	4,220
c	156,000	15,900	2,840	644,100	14,700	3,670
d	8,580	4,890	11,000	29,100	4,790	48,400

※ 表中の「普通畑」は、樹園地及び牧草地を除く畑のこと。「樹園地」は、果樹、茶などを栽培する畑のこと。(「データでみる県勢(日本国勢図会地域統計版)2010年版」より作成)

ア パイナップル イ みかん ウ りんご エ ぶどう

5

次の略年表を見て、問いに答えなさい。

略年表

西暦（年）	できごと
1858	① <u>日米修好通商条約</u> が結ばれる
A	
1895	下関条約が結ばれる
B	
1919	ベルサイユ条約が結ばれる
C	
1945	② <u>ポツダム宣言</u> が発表される
D	
1951	サンフランシスコ平和条約が結ばれる

問1 下線部①における、関税に関する不平等な内容を簡単に書きなさい。

問2 Aの時期におきたできごとをア～エから三つ選び、年代の古い順に並べなさい。

ア 憲法が發布され、「大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」と定められた。

イ 五箇条の御誓文が出され、新しい政治の方針が示された。

ウ 板垣退助は征韓論の主張が受け入れられず、政府から退いた。

エ 立憲政友会総裁の原敬が、本格的な政党内閣を組織した。

問3 下線部②が発表される前におきた世界のできごとを、ア～エから選びなさい。

ア 中華人民共和国が成立した。

イ 東ドイツと西ドイツが統一された。

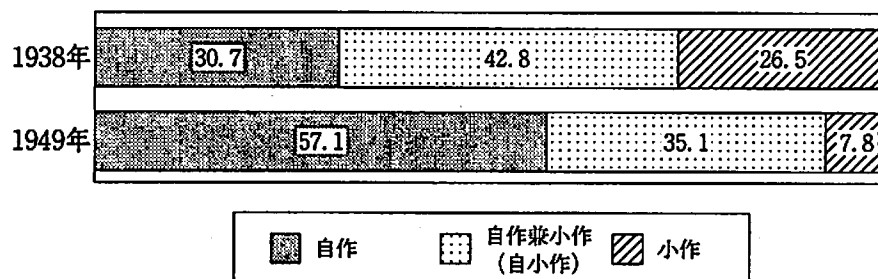
ウ ソビエト社会主義共和国連邦が成立した。

エ 大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国が成立した。

問4 Dの時期のできごとについて述べた次の文の { } (1), (2)のそれぞれに当てはまることばを, ア～ウから選びなさい。

次のグラフの1938年と1949年の自作, 自作兼小作(自小作), 小作の農家の割合を比較すると, 1949年では1938年より(1) {ア 自作 イ 自作兼小作 ウ 小作} の農家の割合が増加していることがわかる。このことは, 第二次世界大戦後, 日本の民主化を進める政策として行われた(2) {ア 地租改正 イ 農地改革 ウ 版籍奉還} が大きく影響していると考えられる。

グラフ 自作, 自作兼小作(自小作), 小作別農家の割合(%)



(帝国農会「農事統計調査」(昭和13年), 農林省「農地調査」(昭和24年)より作成)

問5 次の資料1と資料2で述べられているできごとは, A～Dのどの時期に当てはまりますか, A～Dからそれぞれ選びなさい。

資料1

写真

新渡戸稲造は, 国際連盟が発足したとき, 事務局次長(事務次長)をつとめた。

資料2

写真

与謝野晶子は, 日露戦争中に, 戦場にいる弟の身を心配する内容の詩を発表した。

- 6 次の資料は、すすむさんが、社会科の授業で、基本的人権と民主政治について学習したことをまとめたものの一部です。これを見て、問いに答えなさい。

資料

◆学習したことのまとめ「基本的人権と民主政治」◆	
○ 日本国憲法は、① <u>自由権</u> 、 <u>社会権</u> 、 <u>平等権</u> などの基本的人権を保障している。	○ ② <u>内閣</u> は、③ <u>国会</u> の信任にもとづいて成立し、国会に対して連帯して責任を負っている。
○ 国民の中から選ばれた X が、裁判官とともに刑事裁判に参加する X 制度が、2009年から始まった。	○ ④ <u>地方公共団体の議会の解散請求</u> や <u>地方公共団体の議会の議員の解職請求</u> などの直接請求権が、住民に認められている。

問1 に共通して当てはまることばを、漢字3字で書きなさい。

問2 下線部①の具体的な内容について、次の表の (a) ～ (c) のそれぞれに当てはまるものを、ア～ウから選びなさい。

表

	自由権	社会権	平等権
具体的な内容	(a)	(b)	(c)

- ア 健康で文化的な最低限度の生活を営むことができる。
 イ 人種、信条、性別、社会的身分などにより、差別されない。
 ウ 公共の福祉に反しない限り、職業選択の自由を有する。

問3 下線部②の仕事として正しいものを、ア～エから選びなさい。

- ア 法律の制定 イ 内閣総理大臣の指名
 ウ 違憲立法の審査 エ 条約の締結

問4 下線部③の種類の一つに特別会（特別国会）があります。特別会の召集について述べた次の文の に当てはまる内容を、「衆議院」と「30日以内」という二つのことばを使い、簡単に書きなさい。

特別会は、 に召集される。

問5 下線部④について述べた次の文の { } (1), (2)のそれぞれに当てはまることばを、ア、イから選びなさい。

議会の解散請求は、有権者の(1) { ア 50分の1 イ 3分の1 } 以上の署名を必要とし、その請求先は(2) { ア 選挙管理委員会 イ 首長 } である。

第3部 社会

正 答 表

問題番号	正	答	配点	通し 番号	採 点 基 準	問題番号	正	答	配点	通し 番号	採 点 基 準						
1	問 1	(1) 選んだ首都 の名の記号	(2)	2	①	完全解答	4	問 1	(1)	イ	2	㊴	完全解答				
		(2)	ア														
		A	ア					IV	問 2	(1)	イ	2	㊵	完全解答			
		B	カ					III		(2)	(a) イ						
		C	イ					I		(b) ア							
	D	ウ	II	問 3	(1)	ウ		2	㊶	完全解答							
	(2)	ア															
	問 2	(2)	ア	2	㊷	完全解答		問 4	Xの県	a	2	㊸	完全解答				
		(3)	ア						作物	エ							
	問 3	ウ		2	㊹			5	問 1	(正答例) 日本に関税率を決め る権利がない。		2	㊺				
問 4	記号	ウ	3	㊻	記号と特徴が正解 の場合は3点、記 号のみ正解の場合 に限り、中間点1 点とする。また、 特徴については 「第3次産業の就 業人口の割合が高 い。」、「第1次 産業の就業人口の 割合が低い。」の いずれか一方でも 可。	問 2	古い → 新しい			2	㊻	完全解答					
	特徴	(正答例) 第3次産業の 就業人口の割 合が高く、第 1次産業の就 業人口の割合 が低い。					イ		ウ	ア							
		問 3				ウ			2	㊼		問 4	(1)	ア	2	㊽	完全解答
		問 4				(2)	イ		2	㊾	完全解答						
						問 5	資料1						C	2	㊿	完全解答	
資料2	B																
2	問 1	人の名	平清盛	2	㊽	完全解答	6	問 1	裁判員		2	㊿	漢字指定				
		記号	イ						問 2	(a)	ウ	2		㊿	完全解答		
	問 2	ウ		1	㊿			問 3		エ			1			㊿	
	問 3	法隆寺		2	㊿					問 4	(正答例) 衆議院の解散後の総 選挙の日から30日 以内		3			㊿	内容や表現が不 十分な場合は1 点とする。
	問 4	エ		1	㊿				問 5		(1)	イ	2	㊿	完全解答		
	問 5	勘 合		2	㊿			(2)			ア						
	問 6	イ		2	㊿			計			60						
3	問 1	製造物責任法		2	㊿	「PL法」も可。	3	問 3	(2)	イ	2	㊿	完全解答				
		問 2	ウ		2				㊿								
	問 3	(1)	(a)	ア	1	㊿		完全解答	問 4	(正答例) 税を納める人 と税を負担す る人が一致す る税。		2	㊿				
		(b)	イ														
		問 4	ア							2	㊿						
			問 5	ウ						2	㊿						

- (注) 1 「漢字で書きなさい。」と指示しているところ以外は、かなを用いて記入しても正答とする。
2 ①の問4、⑥の問4以外は、中間点を認めない。
3 その他正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。